

千八百七十八年
橫濱港貿易報告

大藏省
翻譯課

3425



114
A 3142
21 20

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

城多虎雄 譯



七十八年(明治十一年)横濱港貿易ノ報告
横濱英國領事館ニ於テ
百七十九年六月十九日

副領事 マルチン・ド・メーヌ

特命全權公使サハ、ハルリー、エス、パークス君責下

茲ニ一千八百七十八年一月一日ヨリ同レク十二月三十一日ニ
至ル迄一週年間当港貿易ノ報告ヲ調査シ謹テ閣下ノ電覽ニ供
スル此報告ニ附添レタル諸表ノ如キハ「エシ・ズリ」氏カ日
本大蔵省関稅局ニ於テ公報シタル統計表ニ於テ編纂シタルヲ
以テ彼等ノ間ニ於テハ横濱商法會議所(外国商估ノ創立セルモ

ノヲ云フ)ノ調査報告スル者ト大同小異ナキ能ハスト虫氏概シ
 テ之ヲ言フルハ極メテ精確ニシテ信スルニ足ルモノトス
 第一

通商貿易

輸入之部

輸入ノ総額ハ二千六百〇一万千三百弗ニシテ之ヲ前年ニ比較
 スレハ六百五十二万〇八百十五弗ヲ増加ス
 武器及軍用品ハ本年ニ於テ六万〇〇六十弗ヲ減スト虫氏他ノ
 重要ナル輸入品ニ於テハ更ニ左ノ各項ノ如ク著ルシク其増進
 ナ現示セリ則チ

綿布類	増額	三百八十六万〇二百四十六弗
毛布類	全	九万八千〇四十一弗
毛綿交織布	全	三万一千六百八十七弗

鑛物類 全 十九万五千二百三十四弗

雜貨 全 二百二十七万二千〇九十五弗

東洋産 全 十二万三千五百七十二弗

然リ而シテ斯ノ如ク総額ノ増加アリト虫氏商業ハ全局面ヲ通
 視スルキハ或ハ輸入者ニ於テ快々無聊ノ嘆ナキヲ保セムカノ
 後半季ノ如キハ或ル物品ニハ過度ノ供給アリ又ハ或ル物品ニ
 ハ著ルシク其需要ヲ減縮シタルモノ之ニ加フルニ為換相場ハ
 漸次ニ低落セシ故ニヨリ其損失ヲ受タルヤ蓋シ亦タ大ナル可
 シ

又タ昨秋ハ最モ恐ルヘキ失敗者アリテ凡ソ本國ノ理財上ニ於
 テハ一モ間接ニ其毒害ヲ被ラサルモノナシ而シテ其直接ノ衝
 突ニ當リタルモノハ乃チ多年日本市場ニ勢威ヲ逞フシタルマ
 ンチエスター商會ノ閉店是ナリ先是該商會ハ更ニ自己ノ損益

得夫ヲ計較セヌ年々多量ノ品物ヲ当地ニ運搬セシガ故ニ其品
 物ハ常ニ市場ニ充溢シ之レガ為ニ售價ヲシテ遙カニ原價ノ下
 ニ低落セシムルニ到レリ此ノ如キ狀勢ナルヲ以テ正路ヲ遵行
 スル商人ノ輩ハ最モ甚シキ損害ヲ被リタルヲ實ニ意料ノ表ニ
 出タリ、人々該商會ニ注目シ如何ナク妙計良圖アツテカ能ク之
 ヲ支持シ得ルヤヲ恠ニ疑ハサルモノナカリキ而シテ其結果ハ昨
 年ニ於テ該商會ヨリ其損益勘定表ヲ破産裁判所ニ提出シタル
 ヲ以テ始メテ其内情ノ隱微ヲ窺知スルヲ得タリト云フ
 本綿糸 本綿糸ハ依然トシテ消費品中ノ最上位ヲ占有ス本年
 ニ輸入シタル數量ハ二十七万〇百九十担ナリ
 而シテ横濱商法會議所ノ調査スル所ニ拠レハ現ニ受渡済ノ高
 ハ四百「ポンド」入七万〇九百俵ニシテ之ヲ類別スレハ
 十号乃至二十
 四号ノ品 四万二千四百俵

二十八号乃至	一万六千八百俵
三十二号乃至	
三十八号乃至	
四十二号乃至	二千七百俵

以上英國製ニ係ル

孟買糸ノ取引ハ多クハ二十号ノ品物ニシテ其輸入總計ハ九千
 俵ナリ

孟買糸輸入ノ漸次増加セシハ前年ニ在テハ實ニ一大要点ニシ
 テ既ニ前条ニ登記セシ如シ而シテ其品物ハ多ク十六号乃至二
 十四号ノ間ニ在テ其品質ハ上ノ中位最モ需要多シ
 本年ノ初メ市場一般品少量少シシニ三十八号乃至四十二号ノ
 分ヲ除ク、外ハ殆ンド一週間ノ需要ヲモ猶支フルニ足サルカ
 如シ而シテ加フルニ需要者多キヲ以テ自ラ市場ノ價格ハ昂貴
 シテ活澹ナリキ且此際ニ於テ日本商估ニテ期限受渡ノ約定ヲ
 取組タルモノ多シ其後價格ノ低落ニヨリ彼等ハ莫大ノ損耗ヲ

ナセシト云ヘリ当時約定ノ品物ノ價格ヲ類別スレハ

並品 十六号乃至 一担ニ付 二十八弗ヨリ乃至

上ノ中品 全 三十一弗ヨリ乃至

上ノ極上品 全 三十二弗ヨリ乃至

二十八号乃至 全 三十三弗ヨリ乃至

三十八号乃至 全 三十五弗ヨリ乃至

四十二号 全 三十六弗ヨリ乃至

夫レ斯ノ如ク約定ノ價格ハ十分ノ高直ニ昂リシト雖目下着荷ノ

充足スヘキ見込ナルヲ以輸入者ニ於テハ些少ノ賣利ニテ各々

ツノ品物ヲ羅賣セント企テタリ

然ルニ二月中ハ取引至テ少ナク三月ノ末ニ至テ俄然多量ノ取

引ヲ始メタリ其品位ハ多ク十六号ヨリ乃至二十四号ノミ其價

格ハ上ノ中位ニテ三十弗五十分セントヨリ三十一弗ナリ並品ハ

漸次ニ低落シテ二十五弗半ヨリ乃至二十六弗ニテ取引セリ孟

買二十号ノ品ハ二十九弗ヨリ乃至二十九弗半ノ價格ヲ以テ多

量ヲ賣捌キタリ尤モ二十八号ヨリ乃至三十二号ノ品モ是ヲ相

應ニ取引ハアリシト雖其價格ハ都テ低落ノ勢ナリ是ヲ以テ全

局面ヨリ之ヲ通觀スルトキハ当時ノ賣買ハ活淡ナリシト雖其

輸入者ニ在テハ平均原價ニ齊シキ價值ニテ賣捌キタル迄ニテ

殊ニ其利益ヲ占ムル能ハサリシト云ヘリ

四月ヨリ引続キ五月ニ到リ市場ノ不景氣ハ愈ヨ倍ス甚レタソ

ノ当時ノ價格ヲ以テ本年ノ初ニ比スレハ殆ンド二弗程ノ低落

ナリ五月下旬ヨリ六月初旬ニ涉リ稍々市場ノ景状ヲ活淡ニ挽

回セントスル兆候ヲ現出セリト雖其奈ンセン元品市場ニ充滿

セシヲ以テ持久スル能ハス却テ其市價ヲシテ復々意外ニ低落

セシメタリ尔来陸續巨額ノ取引アリシト雖其市場ノ在荷ハ常

ニ一万五千俵ヨリ二万俵ノ間ニ來往シタルヲ以テ到底需要者

一
二

ニノミ充分ノ利益ヲ占有セラレタルハ理ノ見ヤスキ者ナリ加
之ナラス前ニ登記セシ如ク本国理財上ノ難事ハマタ幾分ノ損
害ヲ輸入者ニ増付シタリト云フ

七月下半ヨリハ相應ニ需要者モアリ又タ少シク前時ノ衰頹ヲ
挽回シタル如シト雖氏恰モ是レ日本紙幣價值ノ変動ヲ發生ス
ルノ際ニ方レリ蓋シソノ変動ハ十月ノ末ニ至テ益ニ甚シク終
ニ百般ノ高業ヲシテ一時屏息セシムルニ到レリ而シテ元
品ハ常ニ市場ニ充滿シタルト輸入者ハ競争シテ糶賣セントス
ルノ二因併合シテ倍ス其價格ヲ低落セシムルノ媒介ヲ為シタ
リ十二月ノ下旬ニ到テ價格ハ終ニ其最下ノ点ニ沈淪シタリ今
マ之ヲ本年ノ初メニ比較スルニ一担ニ付殆ント四弗許ノ低落
ナリ之ニ加フルニ為換相場モ亦タ八分ヨリ一割ヲ低降シタル
ヲ以テ若干ノ損耗ヲ輸入者ニ負擔セシメタリト云フモ亦タ不

可ナシ左レバ前述ノ如キ形状ナレバ本綿糸貿易ノ全面ヲ通
論スルハ本年中ニ於テ些少ノ利益ヲモ得タリト認ムルハ其
物料真ニ僅々ニ過キス而シテ剩餘ノ大數ニ到テハ悉ク皆ナ失
敗ニ属シタリト言ハサルヲ得ナルナリ然レトモ歲暮ノ景況ハ
元品ノ無數ナルニ拘ハラズ價格ハ稍々回復ノ兆ヲ現セリ
予カ此ノ如キ本綿糸ノ高況ヲ論述スルニ更ニ其冗贅ヲ厭ハカ
ル所以ノモノハ惟フニ該品ハ輸入品中ニ最上位ヲ占有シ其價
額ハ七百四十五万五千六百八十弗ニシテ則チ綿布類總体ノ十
七分ニ當リ實ニ其最要者タルヲ以テ故ナリ

全巾類 綿布高業ノ中ニ於テ其第二位ヲ占ムルモノトス本年
中ニ輸入ノ原價ハ一百六十万〇八千二百六十弗ナリ之ヲ前年
ニ比較スルトキハ原價ニ十六万七千五百十四弗ノ減額ヲ現ス
而シテ換算高法會議所ノ調査スル所ニ於テハ其受渡高ハ

七封度品

七万一千三百二十箇

八封度四分一ノ品

十六万三千七百三十五箇

九封度品

三十万五千八百七十五箇

則チ総額五十四万〇九百三十箇ナリ之ヲ前年ノ六十六万箇ニ
 比スレハ着ルシク其減額ヲ現シタリヲ知ル可キノミ就中其意
 外ニ減縮シタル者ハ多クハ「ポンド」四分一ノ品ナリト云フ
 水綿糸ノ消費年ニ月ニ其多キヲ加フル所以ノ起因ヲ推考スル
 ニ蓋シ内国人ノ需要スル所ハ既ニ其内国製布ヲ以テ之ニ供給
 セント欲スル所タルヲ知ル且ツ又々其内地ヲ旅行セシ者ノ其
 途次ニ於テ聞見セシ所ヲ傳聞スルニ内地各所ニ於テ綿布製造
 ヲ奨励勧誘スルノ舉アリト竊クニ惟フニ内国製ノ綿布ハ其巧
 緻美麗ナラスト至ニ其質ハ堅牢ニシテ然カモ其丈幅ニ伸縮ノ
 自由アルモノアリ又々経緯各其質ヲ異ニシタルノ糸ヲ以テ之

ヲ組織シタルモノアリ

蓋シ近來並品金巾類ハ上海ヨリ直チニ神戸港ニ輸入シタルモ
 ノ多クソノ数量ハ原ヨリ本港ノ貿易表ニ登録セザル所タルヲ
 以テ金巾類ノ輸入ノ額ヲ本港ニ減却シタルハ固ヨリ更ニ恠ム
 ニ足ラサルナリ

却説前章ヨリ逐次ニ論述シタル如キ形状アルノミナラス上等
 ノ品物ノ如キハ到底相当ノ價格ヲ保持スルハ万々難カルヘシ
 何トナレハ需要者ハ常ニ並品ヲノミ撰擇購求スルモ上等ノ品
 物ニ到テハ時トシテ一箇ニツキ六分ニス餘モ並品ニ劣レル價
 格ナラデハ之ヲ引取ル事ヲ肯セカリ然ラハ則チ内国ニテ製
 造スル所ノ品物ハ特ニ上等品ト拮抗スル者ト云フモ或ハ又々
 理趣ナキニ非サル歟

本年ノ首メニ於テハ市場ノ現品多カラス需要ノ数モ亦大ナラ

ス当時ソノ各種ノ價格ヲ撮記スレハ

七封度並品	一弗五十セントヨリ
八封度四分一ノ品	一弗六十セント
九封度品	一弗七十セントヨリ
上ノ上品	一弗八十セント
最上品	一弗九十セント

三月ノ終リ四月前ニ於テハ需要ノ額極メテ尠ナリ然ルニ同
 月ヨリ五月ニ涉リ九「ポンド」ノ上物ニテ二弗三十セントヨリ三
 十五「セント」ノ價格ニテ多量ノ取引アリキ此ノ時ニ於テハ輸入
 者ニハ充分ノ利益ヲ占メ得タリ統テ六月中モ陸續需要者アル
 ナリ以テ市價ハ漸次二弗四十五セントヨリ五十セント迄ニ昂貴
 セリ八月中ニ至テハ並品ハ極メテ望者多ク随テ其價格モ十セ
 ントヨリ十五セントト騰貴シタリ先是輸入者ニ於テハ久シク

該品ノ輸入ヲ停止シタルヲ以テ故ニ本年中ハ該品ノ在高至
 テ僅少ナリシモ需要者モ亦稀少ナリシヲ以テ其價格ハ終始格
 別ノ変動ナカリシトモ「ポンド」ノ品ハ市價依然タルモ八封度四
 分一ノ並品ハ時アリテ二弗十五セントヨリ二十セント迄ニ昂
 貴セシ「ア」最上品ハ並物ニ比スレバ其原價十五片ノ高價ナ
 ルニ却テ售價ハ漸ク十五セントノ増ヲ得シニ止マレリ
 九封度並品ハ二弗四十五セントヨリ五十セントト上品ハ二弗六
 十五セントトヨリ七十セントトノ價值ヲ以テ賣捌ケリ然ルニ此西
 種ノ原價ニ於テハ其差違ハ蓋シ十五片内外ニ止リシナラン
 歲暮該品ノ仕底ニ際シ價格ハ俄然最高点ニ昂騰セリ是ヲ以テ
 此機ニ臨ミテ恰ニ輸入シタルモノハ必ス相当ノ利潤ヲ得タル
 べシ然レモ未タ以テ前販ノ損耗ヲ償フニハ足ラサルヘシ
 此他綿布類ノ輸入品ニ関シテハ別ニ記スヘキ事項ナシ唯色全

巾ノ内史紗ノ各種ハ本年ニ至リ漸ク其輸入ノ額ヲ増セリ尤モ其模様柄ノ時様ハ屢々変化スト云ハリ
以太利金巾ト稱スル一種ノ品ハ販賣頗ル可ナリト多クハ之ヲ蝙蝠傘共ニ衣類ノ一リニ裝用スト云フ

天鵞絨 本項ノ輸入ハ昨年ニ於テ原價十九万二千弗ノ増進ヲ現シタリ然レハ全体上ヨリ論スレハ未タ以テ満足ナリト云フ可カラズ蓋シ該品中ニ就テ損失ノ最モ大ナルモノヲ黒天鵞絨ナリト云尤モ該輸入品ノ内ニハ日本商估ノ約定ニ係レル品モ少シトセス且當時約定ノ價格ハ着荷ノ時ノ相場ヨリモ高價ナルモノモ亦尠ナカラス

緋金巾 本年輸入ノ額ヲ以テ前年ニ比スレハ十九万九千九百四十二弗ヲ増加ス而シテ其品物ハ英國製ニ係ルモノ最モ多キニ居ル其他瑞西和蘭ノ製品モ亦ソノ幾分ヲ占タリ本年ノ如キ

ハ相應ノ需要アリト謂フヘシ且ツ其品位ハ多クニ封度ヨリニ封度半(丈二十四碼三十一寸)ノモノヲ需求ハ蓋シ日本人ハ專ニラ模様柄ヲ撰擇スルヲ以テ英國製ヲ最モソノ嗜好ニ適スル所トナス

價格ハ量目ニ封度ヨリニ封度半ノ品一箇ニ付七十セントヨリ乃至七十五セントナリソノ量目重キモノハ却テ廉價ニアラサレハ舊レス今ソレ該品本年中ノ高況ヲ概言スレハ畢竟為換相場ノ低落セシ為メ全体上ニ於テハ不充分ノ成果ヲ現出セリト云ハサルヘカラス

毛布類 本年ノ輸入總計ハ二百九十八万八千四百二十三弗ニシテ前年ハ二百八十九万三千八百二十弗ナリトス

洋氈 本年ノ輸入高ヲ以テ前年ニ比スレハ十三万〇百九十弗ヲ減ス(特ニ輸入ノ減シタルノミナラス輸入者ニ於テモ損失ヲ

受タルモノ極メテ大ナリトス

羅紗 輸入ノ金額ハ前年ニ比スレハ六万一千八百七十七井ヲ
増加スト至其價格ハ安直ナルヲ以テ輸入者ニ於テハ洋氈ト
同一ノ結果ナリト云フヘシ

以上記載スル所ノ洋氈及羅紗ハ多ク英國製ニ係ル

縮緬 吳呂 本年中ノ取引ニ属スル者殊ニ夥シクソノ原價ハ一
百八十一万〇〇五十六弗トス之ヲ前年ニ比スレハ十三万
二千八百七十五弗ヲ増ス

該品ヲ類別シテ縮緬、板搾、友禪ノ三種トスソノ第一類則チ縮緬
ハ本年中ニ受渡済ノ高凡ソ二十万箇ニシテ價格ハ一碼十七セ
ントヨリ漸次十九セント迄ニ騰貴セリ然リト至ハ是亦為換相
場ノ低落セシ為メ輸入者ノ得益ハ莫ニ僅少ニ過キカル、此該
品ノ輸入ハ併蘭西製ヲ最モ多シトス而シテ日耳曼製之ニ匹ク

ト惟フニ輒近日耳曼製ノ品質愈ヨ倍ス改良シ幾ント併蘭西製

ト市場ニ於テ併行峙立スルニ到レリ

茅二類則チ板搾ハ本年中ニ受渡済ノ高凡ソ二万三千箇ニシ

テ悉ク併蘭西製ニ係ル價格ハ一碼二十二セントヨリ乃至二十

九セントナリトス原米日本人ノ嗜好ハ時々変更シ易キ性質ナ

ルカ故ニ輸入者ニ於テハソノ品位模樣柄ノ最モ此変更ニ適ス

ヘキ者ヲ撰定シ預メ其損害ヲ防クノ慮ヲ為カハルハカラス

茅三類則チ友禪ノ品位模樣柄ノ撰定ヲ要スルナラ茅二類ニ於

ケルカ如シ本品モ亦悉ク併蘭西製ニ係ル其本年中ニ受渡済ノ

額ハ凡ソ一万箇ニシテ其價格ハ一碼三十セントヨリ乃至四十

八セントナリキ惟フニ三十セントノ價值ヲ以テ販賣セシ分ハ

輸入者ニ於テハ幾干ノ損失ヲ受ケタルハ疑ヲ容レズ且ソ其四

十八セントノ價值ニテ販賣セシモノト至其結局輸入者ハ些細

ニ賣利ヲ占有シタルニ過キカルノミ
毛綿交織布類 本年ニ輸入ノ總額ハ一百〇八万七千七百三十
五弗ニシテ前年ノ取引高ニ比スレハ些少ノ額ヲ増加スルノ
ミ
本項中ニ於テ重要ナル品類ハ以テ列羅紗ト稱シ其輸入高ハ關
稅局ノ報告ニヨレハ原價十六万四千二百〇七弗ノ減額ヲ表示
セリ然ルニ予カ曾テ聞知セシ所ニヨレハ輸入ノ全額ニ於テ特
ニ減縮セカルノミナラス又夕更ニ幾分ノ増加シタルモノアル
ヲ察見セリ是レ他ニ非ス本年中ノ受渡高ハ三万六千五百箇ニ
シテ前年ハ則チ三万二千八百箇ナリ彼此比較スルトキハ著ル
レキ増加ヲ見ルヘシ價格ハ一碼二十七セントヨリ乃至三十二
セント半ナルヲ以テノ故ニ輸入者ニ於テハ充分ノ利益ヲ占有
セシト思惟ハ該品物ハ英國製ニ係ルモノ最モ多ク日丹曼ヨリ

輸入セシモノハ原價ノ不慮ナルニ由リ到底英國製ト競賣スル
能ハサルナリ
武器及軍用品 本項ハ尽ク日本政府ノ需用品ニ係ル其原價ノ
總計ハ二十九万五千四百〇九弗ナリ而シテ前年ヨリ減縮
セルノ著ルシキハナヲ最前ニ述フルカ如シ
鑛物類 本年ニ輸入ノ總計ハ一百三十五万二千三百十二弗ニ
シテ前年ハ一百十五万七千〇七十八弗ナリトシ凡ソ鑛物類ノ
商權ハ全ク二箇ノ日本商人ノ手ニテ掌握セラレタル狀況ナリ
若シ二商相連結スルキハ自己ノ欲アル所ノ價格ヲ以テ該品物
ヲ購買シ得ルナリ此ノ如キ狀況ナルヲ以テ輸入者ハ其損失ヲ
被ル者常ニ少トセス現ニ既鉄賣渡事件ノ如キハ其例証尤モ彰
明ナリト云フヘシ當時外商ハ右二箇ノ預定セシ低價ヲ以テ之
ヲ賣渡シタリト言フニ非スヤ

鐵 関稅局ノ報告表ニ於レハ本品ノ輸入原價總計ハ七十四万四千七百十九弗トス則チ前年ニ比スレハ十二万三千弗ヲ増加ス而シテ其數量ニ至テハ該表ニ記載セサルヲ以テ暫ラク横濱商法會議所ノ調査表ニ基キ其受渡高ヲ記ス

平及ヒ丸棹鉄

二万四千二百二十九担

釘線

二万一千二百五十七担

鉄塊

八千四百十三担

棒鉄板鉄及其他鉄類ノ需要者ノ即用ニ適當スル品柄ハ相應ノ利益ヲ以テ之ヲ賣却スルヲ得タリト云ハ其大カ荒ニ品柄ノ不適當ナルモノ、如キハ價值ノ高低ニ関セス幾シト之ヲ向フモノナキニ至レリ本年ノ晩季ニ至テ平及ヒ丸棹鉄ノ横濱市場ニ渋滞セシモノハ大抵皆テ不適當ノ品物ノミナリ蓋シ其然ル所以ヲ推究スルニ本國ノ製鉄家ニ近來ニ至リ屢々其利ヲ失ヒ其

産ヲ破リソノ業ヲ廢止シタル如キ景状ニ陥リタルヲ以テ競テ既製ノ物品ノミナリトモ損夫ノ慘毒ヲ免レンコトヲ希圖シ適否ヲ擇ムノ違ナク多量ノ品物ヲ当地ニ運搬シタルニ淵源セサルニ非サルヲ得ンヤ

平及ヒ丸棹鉄 本年ノ初メニ當テハ市場ノ在荷ハ五千〇七十八担ナリ而シテ其價ハ一月ヨリ三月迄ハ二弗六十センシヨリ九十センシ四月ヨリ六月迄ハ二弗六十センシヨリ三弗二十五センシ内外ニアリ其後ハ漸々低價ノ景状ヲ現出シ十二月ニ至リ二弗四十センシヨリ三弗十五センシノ間ニ止マレリ且ツ其歳末ニ於テ市場ニ現在セル荷高ハ凡ソ一万四千〇六十五担ナリキ

釘線 本年開市ノ首ニ方テ市場ノ在荷ハ無慮六千六百三十三担ナリ其各種ノ價格ヲ列挙スレハ揃物ハ一月ニ二弗九十セン

ト乃至一弗六十セント位ナルモ十二月に至テハ二弗七十セント
ト二弗三十セントト迄ニ低落セリ小形ノ品物モ亦三弗十五セント
トニ至リ其歳晩ニ及ンテハ二弗七十五セントト乃至九十セントト
位ニ低落セリ而シテ本年ノ末日ニ於テ市場ノ在荷ハ一万一千
五百三担ナリト云ヘリ

近來日本人ノ多ク古鉄鎖ノ品質善良ニ價格低廉ナルモノヲ以
テ釘ニ改製スルガ故ニ此古鉄鎖ノ輸入ヲシテ依然尚ホ今日ノ
如クナラシメハ釘線ヲ輸入スルトモ到底其利ヲ見ルニ至ラザ
ルヘシ

鉄塊及鉛塊 此二品多クハ日本政府用ニ輸入セルモノニ係ル
而シテ鉄塊ハ前年ハ二十万二千〇三十弗ヲ輸入シタレモ本年
ニ至テ僅カニ十四万八千七百〇五弗ニ減セリ本年南市ノ價ハ
一担ニ付七弗ヨリ乃至七弗二十五セントトニ至レリ尔後八月ニ

至テ九弗七十五セントト迄ニ低落セリ然レモ亦夕歳晩ニ迄シテ
再々九弗九十セントトニ恢復セリ蓋シ價格ノ斯ク変動ヲ来スハ
必竟本國市場ノ景状ニ影響セラル、トナキニ非スト至レモ結局
輸入ノ品物ハ其原價ヨリ幾干ノ損耗ヲ以テ賣揚キタルニ疑ナ
シ

錫片 本年ニ於テ二万一千〇六十七弗ノ増加ヲ現ス惟フニ当
時日本國各所ニ散在スルブリッキ器物製造者ヲシテ悉皆錫片
ヲ用ユルニ至ラシメハ錫片ノ需要更ニ數層ヲ増スヘシト至レ
目今ノ現況ヲ觀察スルニ概シ石炭油ノ古箱ヲ以テ改製スルモ
ノ多シトス是レ蓋シ原料夥多ニシテ價格モ亦々至賤ナルヲ以
テナリ錫板ハ一箱五弗六拾セントト以上八十セントト以下ノ價値
ニテ賣初メタリト至レ本國市場ノ景況ニ由リ漸次五弗三十セ
ントヨリ五十セントト迄ニ低落セリ是レ併シナカラ大抵原價ト

相俾シキ價格ナリト知ルヘシ

雜貨(西洋產)

雜貨ハ輸入品中ニ就テ巨額ヲ占タル一項ニシテ

其原價ノ總計ハ前年ハ四百三拾九万一千二百九十八弗ナリシ
モ本年ニ至テハ六百六十六万三千三百九十三弗ニ増進セリ而
シテ其巨額ヲ占ムル者ハ石腦油ヲ以テ最トス該品ノ輸入原價
ハ前年ハ三十一万九千九百十三弗ナルモ本年ニ違シテハ一百十
六万三千二百六十八弗ニ増進セリ

本年ノ始メニ方テ石腦油ノ現荷極メテ僅少ニシテ六十封度入
一箱ニ付四弗五セシトノ高價ニ騰貴セリ然レ既斯ノ如キ非
常ノ價格ハ決シテ永久ニ支統スヘキモノニ非ス僅少ノ着荷ア
ルモ直キニ其勢威ヲ挫折スルニ足ル然レ故ニ四月ニ至テハ三
弗トナリ七月ニ違シテハ二弗四十セシト違ニ低落セリ尔後些
少ノ昇降アルモ終ニ十二月ノ末ニ至テハ二弗十セシト乃至十

五セシトノ最下点ニ沈淪セリ此ノ如キハ實ニ原價ノ幾分ヲ減
却シタルモノナリトス

惟フニ該品ハ多ク日本高估ノ注文ニ係ルモノニシテ其高權ハ
全ク米國人ノ手ニ存セリ

雜貨(東洋產)

本項ノ原價總計ハ二百七十三万六千五百四十九

弗ニシテ其巨額ヲ占ムルモノハ臺灣砂糖トス關稅局報告ニ據
レハ該品ノ本年中ニ輸入セシ數量ハ四十万〇〇〇六十三担ニ
シテ其原價ハ二百四十三万八千七百七十三弗ナリ之ヲ前年ニ
比スレハ其數量ハ四万三千百六十六担ヲ減却スト至テ其原價
ニ至テハ却テ二十九万二千百二十八弗ヲ増加セリ價格ハ一担
ニ付十月ニハ四弗三十セシトヨリ乃至四十セシトナリシモ十
二月ニ違シテハ六弗六十セシトヨリ乃至七十九セシト騰貴
セリ此ノ如キハ輸入者ニ於テハ蓋シ充分ノ利益ヲ占得セシハ

毫之疑ヲ容レシ該品ノ貿易ニ從事スルモノ大半支那人ナリト云フ

輸出品之部

輸出品ノ本年ニ價格ヲ減縮シタルモノヲ擧グレバ生糸ニ一〇、六万四千二百〇五弗、銅ニ一十六万一千百五十六弗、蠶糸ニ三万一千七百三十六弗ヲ減セリ而シテ其價格ヲ増加シタル物品ヲ表示スレバ

製茶	全 增	六三、三六六 弗
生蠟	全	一一、五一五
米	全	二〇一、五六四
乾魚	全	一七八、七三三
蚕卵紙	全	三三五、六〇八
小麦	全	三四〇、八〇二
鑄及鑄器	全	四九、七四六
雜貨	全	九四三、〇三三

生糸 本年ノ首ノ本國ニ於テハ歐洲政事上ノ議論穩カナラガ
リシニ因リ市場ノ景況ハ兎角因循ノ姿ニ沈淪セシメ故ニ當市
場モ亦々其餘波ヲ以テ活潑ナラザリキ今ニ該品各種ノ相場ヲ
琴クレバ

手取糸並ヨリ中品

自四百七十弗
乃至五百弗

甲別下仁田極上品及其他

自六百弗
乃至六百二十五弗

掛田最上飛切

自六百五十弗
乃至六百七十弗

器織糸上品

六百五十弗位

購買者ハ斯ノ如キ高價ヲ以テ之ヲ買取ルヲ欲セス荷主モ亦
々其價ヲ依減スルヲ欲セザリシカ故ニ一月中ハ双方脱合ノ形
況ナリキ然ルニ佛蘭西商估ハコノ高價ニ関セス相應ノ取引ヲ
ナセリト云フ

二月中モ亦々取引多カラザリシト蚕匠荷主尚ホ屈撓ノ色ナシ
此時ニ方テ恰モ是レ英魯開戦ノ徵候ヲ生セシノ時ニ際シ本國
ノ市場モ夫レカ為ニ頗ル不景氣ヲ醸成シタルヲ以テ價格ニ漸
次低落シテ終ニ一担ニ付二十弗内外ヲ減却セリ三月ヨリ四月
上羊ニ至ルマデハ大抵同様ノ形状ナリシモ尔來徐々衰弱ニ赴
キ終ニ手取糸並品ハ四百二十弗ヨリ四百五十弗迄ニ賣買シ具
他各種ノ品物モ之ニ準シテ低落セリ然レモ當季現品漸ク拂底
ノ色ヲ現シ其上等品ノ價格ニ至ラハ殆ント空相場ニ齊シキモ
ト云フモ可ナリ五月中モ引続キ取引稀少ナリキ然ルニ六月
ノ初旬ニ及ンテ俄然本國市場ノ氣配頗ル活潑ナリトノ報知ア
リシ故ヲ以テ當市場ニ活潑セシ刺賣品ハ迅速ニ賣捌ケタリ手
取糸ノ中等品位ノモノモ五百弗迄ニ昂貴セリ是レ殆ンド倫敦
ニ於テ十八志ノ價格ニ齊シキモノナリ

儲ラ此ノ活深ノ氣配ハ畢竟一時ノ変ニ属スルモノナリト密氏
 コノ時恰モ新繭収獲ノ期ニ際シタルヲ以テ忽チ内地各市場ニ
 影響ヲ及ボシ新糸ノ價格ヲシテ意外ニ騰貴セシメ之レカ為ニ
 終始新糸ノ價格ハ高直ヲ占得シ買者ニ幾干ノ不幸ヲ被ラセタ
 ルモノト思惟セサルヲ得ズ

六月ノ中旬ニ於テ高崎前稿ノ市場ニ新糸初買ノ景況ヲ聞クニ
 恰モ横濱ノ賣買ニ於テ五百五十弗ノ相場ニ匹敵スルモノナリ
 五月下旬ヨリ六月上旬ニ跨リ氣候稍ヤ不順且雨濕多キノ故ヲ
 以テ蛹ノ収獲ニ幾分ノ損害ヲ与ヘタリト云ヘリ今ニ至リテ之
 ヲ回想スレハ其言ノ虚偽ナラサルヲ覺知スルニ足レリ
 六月下旬ハ王子前稿新糸ノ始メテ横濱ニ輸入セルモノ凡百俵
 ニシテ一担ニ付四百七十弗ヨリ乃至五百十弗ノ價格ヲ以テ瞬息
 間ニ之ヲ賣捌ケリ其品柄、新糸ノ並物ニ属ス七月ノ上旬ニ至

リ各地ヨリ徐々着港セシ品物ハ之ヲ需要スルモノ少ナク其價
 格ハ十弗ヨリ乃至二十弗方モ低落セリ然レモ久シカラステ
 復タ大ニツノ需要ヲ増加シ全上ノ品物ニテ五百弗ヨリ五百二十
 五弗ニ昂貴シツノ少シク精良ト認ムルモノニ至ニハ五百九十
 弗迄ニ昂貴セリ

七月ノ末ニ及ンテ價格ハ愈ヨ騰貴セリ今マ其各種ノ價格ヲ表
 示スレバ

品名	一担ノ價	一封度ノ價
八王子手取上品	自五百二十弗乃至	自十七志九片乃至
前橋中ノ上品	自五百三十弗乃至	自十八志九片乃至
手取系最上品	自五百四十弗乃至	自十九志九片乃至
器械系上品 <small>(糸古)</small>	自五百七十弗乃至	自二十志三片乃至
掛田新糸一包	六百八十弗	二十三志六片
	六百十弗	二十一志三片

八月中ハ陸続着荷アリシモ買人ハ敢進シテ之ヲ購買セス荷主
 モ亦ク原價ノ昂貴ナルヲ口実ト為シ更ニ價格ヲ低減スルノ色
 ヲ現サシ手取糸ノ價格ハ別ニ着ルシキ變動ナシト至氏之ヲ概
 言スレハ稍ヤ下向キノ形況ナリキ然ルニ月末ニ至テハ掛田ノ
 最上品ハ

自六百六十弗乃
 至七百三十弗

即チ志ホシドニ付

二十志九片ヨリ
 二十五志ニ至ル

器械糸

自七百弗乃至
 七百五十弗

濱附

五百二十五弗

却説諸商館ノ斯ノ如キ昂價ノ品物ヲ引取タルハ何レニ原因ス
 ルヤヲ察スルニ各其本国ニ於テ今年ハ銳意推先シテ絹布ノ製
 造ニ從事スルノ情勢アリハ歐洲一般ニ豫メ之ヲ期算セシニ因

ルモノナリト云フヘシ

九月中ニ於テ該品ノ入荷漸次増加シテ一時需要ノ度ヲ超過ス
 ルニ到レリ此ヲ以テ日本商估モツイニ幾分カツノ價格ヲ低減
 セリ然リト至氏洋銀相場ノ昂騰シテ紙幣ニ對シテハ大ナル差
 異ヲ生シタルノ故ニ依リ殆ント其價格ノ低落ヲ相償フヲ得
 タリ十月ノ下旬ニ至ルマテ價格ハ漸次低点ニ傾斜スルノ勢ア
 リレヲ以テ自ラ多量ノ取引ヲ為セシモノアリ蓋シ此ノ價格ノ
 低落ハ元品ノ市場ニ充溢セシト荷主ノ前途ニ顧慮ヲ懷クトノ
 二因ニ依ルモノト至氏抑モ亦タ洋銀相場ノ本月ニ至リ迅速ニ
 騰貴セルノ大ナルニ非ザリセバ此ノ如キ低点ニ沈淪スルノ理
 ハ断然アル可カラサルナリ左レハ本月ノ洋銀相場ハ之ヲ前月
 ニ比較スレハ七分ヨリ一割ノ昂貴ナルカ故ニ日本商估ハ其價
 ヲ洋銀ニ於テハ減シタルカ如クナレ氏之ヲ紙幣ト交換スルニ

於テハ毫モ減縮セサルノミナラス却テ若干ノ増額アルヲ見ル
ハキナリ

十月廿四日頃ニ到リ價格ハ最下ノ点ニ墮落セリ今マ之ヲ左ニ
揭示センニ

品名	一担ノ價	一封度ノ價
手取糸並物	自四百五十弗乃 至五百弗	自十五志三片乃 至十七志
同上物	自五百二十弗乃 至五百三十弗	自十七志九片 至二十志九片乃
唇絨糸最上物	自六百二十弗乃 至六百五十弗	自二十一志六片 至二十二志六片
掛田糸上物	自六百三十弗乃 至六百五十弗	
濱附	五百弗	

此時ニ際シ日本紙幣凡ソ七分五厘餘モ騰貴シ各荷主ハ一時其
賣込ヲ見合セタルニ依リ生糸ノ價格ハ忽チ三十弗程モ引上
リ加之十一月下旬ニ到リ本國市場益々上氣配ノ電報アリシノ

故ヲ以テ一時ハ強氣ノ形況ナリシト雖モ十二月中ハ各荷
主推先シテ賣込ニ汲々タリシノ故ニ再々下向トナリ唇絨上物
ハ五百七十弗ヨリ乃至六百弗ニ掛田上物ハ四百六十弗ヨリ乃
至五百八十弗ニ低落セリ特リ手取並品ハ四百五十弗ノ強氣ニ
テアリキ

本年ニ輸出セシ生糸ノ總計ハ一四、五一二担ニシテ之ヲ前年ニ比
較スレハ二、七一八担ヲ減ス横濱商法會議所(居留外國人ノ)ノ調
査スル所ニ拠レハ本年中ニ輸出セシ總計ハ一七、二四〇俵ニシ
テ内新糸ニ係ル分ヨリ一、九〇八俵ナリト又々前年ハ總計一
九、七二四俵ノ内一六、六九二俵ヲ新季ノ產出ニ係ルモノトス
今マ昨年及本年ノ兩季ニ於テ輸出シタル新糸ノ數量ト輸出先
ノ國名トヲ併セテ左ニ列記ス世ノ人モシ之ヲ一覽セハ則テ後
來倫敦ニ向ケテ輸出シタリシ數量ノ幾分ヲ本年ニ至テハ昂

ニ轉輸シ且ツ又夕当地ト合衆國トノ直取引ノ増加シタルヲ
モ明知スルニ餘アルハシ

國名	本年	昨年
英 國	三、五一二 依	八、二三四 依
佛 國	六、五一七 〃	六、六五四 〃
米 國	一、五三六 〃	六、六一一 〃
其他諸國	、三四三 〃	一、一九三 〃
通 計	一、一九〇 〃	一、六六九 二 〃

本年ノ生糸貿易ハ輸出者ニ取テハ最モ不満足ナリシト言ハサ
ルヲ得ス如何トナレハソノ上半季ニ輸出セシモ、ハ偶々損益
相償ヲヲ得タルモノナキニ非サレモ其數量實ニ僅少ニ過キス
新糸ノ如キハ最初着荷ノ數個ヲ除キ其餘ノ分ニ到テハ多少ノ
損失ヲ被ラサルモノ幾シト稀ナリカレハコソ輸出者ニ於テモ

元價ニテ賣却スルヲ得ハ無上ノ好結果ナリトセリ然レモ其
大半ハ一封度ニ付一志ヨリ乃至三志ノ損失ヲ免レガリキ今其
理由ヲ觀察スルニ歐洲ノ高況一般ニ衰頽シタルト政事上ノ紛
擾トニ依リ兼テマタ日本生糸ノ上物ハ近來稍ヤ世人ノ嗜好ニ
適セサルニ依ルモノアリト蚕氏抑モ本年ニ於テ歐洲生糸収獲
ノ大ニ常年ニ超過セルニ依ルモノニ非サルナキヲ得ンヤ
未蘭府商法會議所ノ報告ニ按レハ以太利一國ニ於テ本年生糸
収獲ノ實額ハ六月頃ノ豫算高ニ超過スルヲ無慮一千万基ニ下
ラス之ヲ全國ノ總産出高ニ較計スレハ凡ソ具三割弱ニ當レリ
ト云ヘリ一回ノ収獲ノミニテモ猶且ツ然リ況ンヤ之ニ加フル
ニ諸國ニ産出セル巨大ノ高ヲ以テスルニ於テヤヤ
當時政米人ノ需要スル所ハ專バラ製布ニアツテ上等生糸ノ高
價ナルモノハ多少忘棄セラレタルノ形況ニアリキサレバニヤ

日本生糸モソノ價格ノ安直ナルモノニ到テハ却テ上等高價ノ
モノニ比スレハ其市價ノ低落ハ稍々少ナリキ就中濱附糸ノ
如キハ再タヒ高等ノ價格ヲ回復スルニ到レリ
曩ニ政府製糸所ヲ富留ニ創設セシ以來上信陸羽ノ諸別ニ於テ
モ人民ノ推先シテ之ヲ設立スルモノ陸統跡ヲ絶タス其大ナル
モノハ五十釜ヨリ乃至百釜ヲ裝置シ小ナルモノト並ニ二十釜
ヨリ少カラズ水利便ナル地ニ就テハ水車ヲ用ヒ不便ノ地ニ
在テハ蒸氣ノ力ヲ仮ル而シテソノ結構ノ大ナラサルモノ器械
并ニ附屬品ノ如キモ莫大ノ經費ヲ要スルモノニ非カルカ故ニ
凡ソ養蚕ノ業ニ從事スル州郡各地必トシテ製糸所ヲ設置セサ
ルハナクステニ本年ニ到テハ全国産出高五分ノ一内外ハ全ク
器械製ニ変移シタルモノト思フナリ其品質ノ如キハモトヨリ
一様ナラスト並ニ概シテ之ヲ言フキハ精良善美ナルト遠ク手

取糸ノ上ニ在リト云フヘシ然ルニ本年歐洲ノ需要スル所ハ重
ニ下等品ニアリレヲ以テ器械糸ハ却テ相与ノ賠償ヲ市場ニ博
スルト能ハス大ニ製出者ヲシテ落騰セシメタリ
聞タ所ニ按レハ富留生糸ハ近來里昂市場ニ於テ大ニ其聲價ヲ
落シタリト其然ル所以ノモノハ該製糸場ニ最早外人ノ監督セ
サルニヨリ其製出セル生糸ノ良質ヲ失フタルニ依ルモノト云
ヘリ
本年ハ日本政府特ニ三井物産會社ニ托シテ富留製ノ生糸ヲ直
チニ歐洲ニ輸出セシニヨリ該生糸ノ横濱市場ニ現出セサルハ
更ニ恠ムニ足ラス然レモ之ヲ横濱市場ニ賣却シタランニ
ハ却テ直チニ歐洲ニ輸出シタルニ勝ルベキハ方々疑ヲ容レガ
ル所ナリ
掛田糸ハ当季ニ於テ其品尤モ夥多ナリトス其然ル所以ヲ推究

スルニ原来真ノ掛田製ハ僅ニ百五十俵ニ過サレ氏輓近ソノ善
良ノ名譽ヲ内外ノ市場ニ得タルヲ以テ傍近ノ地方ニ於テハ多
ク之ヲ模製スルノ風習トナレリ勿論掛田近傍ニ産スル蛹ハ其
質至テ善良ナレハ掛田ノ名ヲ冒スモ更ニ不可ナルベシ別シ
テ本年ニ於テハ奥州蛹ヲ以テ掛田系ヲ模製セルモノ極メテ多
キニ因リ自然ト市場ノ取引上ニ於テモ奥州系ノ名ヲ以テスル
モノ尠ナクシテ掛田ノ名ヲ以テスルモノ、多キ所以ナリ
政ノ大陸及ヒ米國ニ於テモ掛田系ノ需要格外ニ多カリシ故ヲ
以テソノ上等品ノ價格ハ終始高點ヲ占メタリキ而シテ中等品
ニ至テモソノ掛田ノ名称アルヲ以テ多少其利ヲ得タルモノナ
キニ非ス然レ氏之ヲ要スルニ大抵奥州産同等ノ價格ニテ賣捌
キタリト一概ニ之ヲ言フハ當季ニ於テハ掛田系ノ氣配ハ非
常ノ銳感ヲ占メタリト言ハサルヲ得ス

政洲為換ノ下落シタルト日本紙幣ノ洋銀ニ對シ若干ノ差異ヲ
生シタルノ二項ハ因ラヌモ日本系高ニ望外ノ利益ヲ与フルノ
媒トナレリ何トナレハ為換相場ノ當季ニ下落シタルヲ以テ外
回高ハソノ四志ノ時ヨリ多量ノ洋銀ヲ拂フヲ得ベク且ツ日
本高ハ洋銀ノ高價ナルニ依リ之ヲ紙幣ニ交換スレハ其差異ヲ
生シタル文々ハ剩餘ノ紙幣ヲ得ヘシ故ニ之ヲ為換相場及洋銀
價格ノ平準ナル時ニ比スレハ一担ニ付無慮百俵ヨリ百五十俵
迄ノ贏利ヲ占ムルニ至レリ
生糸貿易上ニ於テ本年ノ一大要件ハモ謂フヘキハ政洲製造家
ノ市場トノ直取引ノ増加シタルナリ南ク所ノ如キハ右ノ製
造家ハ多量ノ物品ヲ本國ノ市場ニ購買セシテ直々ニ當港ニ
注文シタリト惟フニ直々ニ當港ニ於テ購買スルハソノ本國市
場ニ到着スルヲ待テ購買スルニ勝ルヤ否我輩之ヲ疑ハサルヲ

得ス蓋シ此方法ノ損害ヲ生スルヤ一ニシテ足ラス当港ニ於テ
一買者ノ競争ヲ増シテ其價格ヲシテ騰貴ナラシメ又タ之ヲ輸
出スル者ニ於テハ其需要ノ幾分ヲ本国ノ市場ニ減却シ為ニ依
價ノ恐アルヘキハ理ノ最モ見易キモノナリトス
生糸中ニ一種ノ有害物ヲ胚胎スルアリテ航海中ニ於テ其損害
ヲ被ルモノ尠少ナラスト言ヘリ其性質ノ何タルハ未ダ知ルヲ
得スト蚕氏既ニ仁蘭西ニ於テハ姓々世人ノ注目スル所トナレ
リ或ハ曰クアルテスト稱スル一種ノ小虫ヲ生シ糸ヲ咬傷シ善
良ノ生糸ヲシテ変シテ屑糸ト一般ニ至ラシムナラント今其害
物ノ性質ヲ討究スルハ姑ク箇キ目下当地ニ於テ檢閲シタル精良
無害ノ品物モ其航海中ニ於テ損害ヲ被ルモノ尠ナカラスト屢
々本国ノ買主ヨリ怨言ヲ來セリ然レモ当地ニ於テハ未ダ曾テ
察見セザル所ナリ就中此毒害ヲ受クルハ古糸最モ其多キニ居

ルト云フ

本国市場ノ景氣變動ノ甚シキモ亦タ當季中ノ一要事ナリトス
從來倫敦ヲ經テ再ニ他方ニ輸出セシ生糸貿易ノ幾分ハ里昂高
ノ掌握ニ歸シタリト蚕氏該地ノ商估ハ倫敦高ノ如ク市場ノ景
氣ヲ鞏固ニ維持スルノ資力ニ乏シキ故ヲ以テ屢々市場ノ變動
ヲ來タセシモノト思ハル加フルニ近來彼此交通ノ道大ニ脩ケ
タルト電信ノ迅速ナルトニ依リ大ニ之ヲ助成シタルモノト言
ハサルヲ得ス
屑糸ハ本年ニ於テ頗ル貴重ニラレタリ何トナレハ當時
本国ニ流行ノ絹布類ハ多ク屑糸ヨリ紡績シタル糸ヲ以テ織造
スル者多キヲ以テノ故ナリ器械糸ノ屑ハ其質極メテ善良ナリ
ソノ耐斗ト稱スルモノ、如キハ一担ニ付百弗ヨリ百三十弗ヲ
得ヘクチバミノ分ハ八九十弗ニテ捌ケ方ヨシ並品ニ至テモ尚

二十弗ヨリ三十五弗ノ價格ナリ之ニ及シ売蛹ハ漸ク六十五
 弗ヨリ乃至八十五弗ニシテ然カモ不人氣ナリ横濱商法會議所
 ノ調査ニヨレハ屑糸売蛹ノ輸出高ハ

本年	一万一千担	昨年	六千三百四十担
売蛹	二千三十担		三千四百四十担

以上ノ比較ヲミレバ屑糸ノ輸出ハ本年ニハ割ヲ増シ売蛹ハ四
 割ヲ減ス以テソノ景氣ノ如何ヲ知ルヘキナリ
 本項ニ関シ新町屑糸紡績所ノ一ナ一言スヘシ抑モ本所ハ高崎
 近傍ニ割設スル所ニシテ其結構頗ル壯大ナリ政製ノ機械ヲ装
 置シ売蛹屑糸ヲ変シテ最良ノ生糸ヲ製出スルノ所ナリ
 蚕卵紙 近年來屢次市場ニ失敗シタルニモ懲リス本品ノ製出
 ハ依然トシテ旧ノ如クナリソノ本年ニ輸出シタル原價總計ハ

六十八万二千六百〇六弗ニシテ前年ハ僅カニ三十四万六千九
 百九十八弗ナリキ

本年ニ於テハ各荷主相連合シ容易ニ其品物ヲ賣却スルヲ肯セ
 ス外商ヲ強ヒテ松ナク高價ニ購ハシメント試ミタルニ因リ一
 時ハ相当ノ價格ヲ維持スルヲ得タリト蚕氏十一月ノ末ニ至リ
 幾ント百万枚程ノ着荷アリシヲ以テ其企望モ全ク画餅ニ属セ
 リ加之ナラス以太利商ハ後容トシテ更ニ其購買ヲ急カカルト
 猶日本人ノ低價ヲ以テ販賣スルヲ好マサルト同一般ナリ是ヲ
 以テ精良ノ物品若干ヲ除クノ外ハ總体ノ取引至テ僅少ナリシ
 ト云フ秋田種ノ最上ナルモノ若干ハ一枚三弗二十五セントニ
 賣糊ケタリト蚕氏自餘ノ秋田種ニ至テハ平均二弗二十セント
 ヲ越サバリキ
 島村種ハ一枚ニ付一弗六十四セント上州及武別品允ソ五万枚

ハ一弗八拾セントヨリ一弗二十五セントノ間ニテ賣捌ケリ此
外ニ凡ソ十五万枚許ハ三十五セントヨリ四十セントニテ賣捌
キタルモ其餘ノ大數ニ至テハ僅ニ二三拾セントヲ得タルノミ
ナラス甚シキハ信州種ノ最下品ノ如キハ到底一枚ニセントニ
テモ高ホ需要者ナキニ至レリ此ノ如キ低價ヲ挽回セント欲シ
下等品凡ソ十八万枚ヲ棄擲シタリト云々終ニソノ功ヲ奏スル
ニ至ラザリキ

本年ノ輸出高ハ八十八万七千七百六十七枚ニシテ昨年ハ一百
十七万六千四百四十二枚ナリト云ヘリ
近年以冬利ニ於テモ蚕ノ病毒漸次消滅シタル如キ形況ナレハ
最早平常ノ年ニ在テハ日本種ノ輸入ヲ要セサルヘシ

茶 輸出統計ハ數量十一万二千七百四十二担ニシテ原價二百
六十六万二千六百四十七弗ナリ之ヲ前年ノ數量十萬六千〇九

十二担原價二百六十一万三千百八十八弗ニ比スレハ數量ハ六
千六百五十担ヲ増加シ原價モ亦若干ノ増加アルヲ知ルヘシ
然レハ凡ソ此商葉ニ從事セルモノハ概テ充分ノ好結果ヲ得タ
リト云フヘシ特リ早製ノ上等ヨリ最上等ノ品ニ到テハ實ニ意
外ノ損失ヲ被リタリト言ハサルヲ得ス蓋シ該品ハ五月中旬ヨ
リ六月中旬ノ間ニ於テ一担ニ付二十三弗乃至二十九弗ヲ以テ
之ヲ買取リ汽船ニ搭載シ直チニ桑港ニ輸シ陸路紐育ニ運搬シ
タルモノニ係ル然ルニ着荷ノ期ニ至リ不幸ニシテ恰好ノ望人
ナク大抵一封度ニ付三十セントヨリ乃至三十一セントノ低價
ヲ以テ賣捌キタリト若シ該品ヲレテ歲晚ニ至ルマテ之ヲ維持
シタラシニハ或ハ最上ノ好結果ヲ得ルヲナシト言フ可ラスト
思惟セリ

茶葉ノ収獲ハ一般ニ十分ノ出来ニシテ價格ハ終始低點ニ止マ

レリ五月八月ノ間ニ於テハ上ノ中物一担ニ付大抵十八弗ヨリ十九弗ニテ買取ルヲ得タリト雖モ十二月頃ニ到テハ二十一弗ヨリ二十二弗ニ騰貴セリ

昨年及一昨年ノ両季ニ於テ当国ニ始メテ紅茶ヲ製造シ英國市場ノ需要ニ供給セント試ミタル者アレモ凡ソ此業ニ從事シタル内外人ハ俱ニ若干ノ損失ヲ被リタリ故ニ今後該製造ヲ永久ニ保続スルノ忍耐力アリヤ否ヤニ於テハ頗ル疑フヘキナリ米國商某ノ予ニ給付シタル報告書ニ於テハ本年中ニ船積シタル数量ハ

国名	数量
紐育 (又エチビ経ヲ)	九、〇八一、六四六 磅
全 (帆前船ニテ)	一、五四七、九一六
香港	三、〇三六、三〇〇

勸斯頓

智賀吾

右ノ外米國各地

加奈多

英國 (紅茶)

通計

勸斯頓	一六六、三四一
智賀吾	一、二九七、八二五
右ノ外米國各地	一、二六、一五九
加奈多	五〇七、六〇七
英國 (紅茶)	五三〇、八〇〇
通計	一、六、二九四、六九四

右ノ表ニ就テ之ヲ觀レハ日本茶ハ英國及加奈多ニ送致シタル凡ソ一百万ポンドヲ除キ其余ハ尽ク之ヲ合衆國ニ輸送シタル者ト知ルヘシ然レモ該品ノ中三分ノ二餘ハ都テ英國商估ノ手ヲ以テ輸送シタル所ニ係ルト云ヘリ

米 本年輸出ノ統計ハ數量四十万四千四百六十九担原價九十九万九千三百弗ナリ前年ハ數量三十七万五千三百六十八担原價七十九万七千四百三十九弗ナリトス而シテ其大半ハ清商ノ

手ヲ以テ輸出シタルモノニ係ル今ソノ價格ヲ表示スレハ

上等 一石ニ付

自七弗乃至

中等

自六弗五十五セント

下等

乃至四弗四十四セント

既ニ斯ノ如クナレハ其全体上ノ結果ハ不良ニ非スト至モ必竟
該品取扱上ニ於テハ一大危険ヲ包蔵スルアルニ依リ輸出者ニ
在テハ或ハ得失相償フ能ハサルノ患ナキヲ保セス若シ夫レ該
品ノ輸出ヲレテ益々盛大ナラシメント欲セハ宜シク委米ヲ清
淨ニスルノ所ヲ創設スルニ非ラサレハ不可ナリ而シテソノ事
ノ得失成否ハ將ニ明年ヲ待テ之レヲ報道スルノ期ヲ得ヘキナ
リ
小麦 本項ノ商業ハ全ク清商ノ管理スル所タリ聞ク所ヲ以テ
スレハ彼輩ハ僅少ノ口錢ヲ以テ販賣スルカ故ニ外商ハ之ニ從

事スルモ其利ヲ得ルノ目的ナレトセリ輸出ハ數量十八万八千
六百九十一担原價三十五万四千四百五十六弗ナリ之ヲ前年ノ
數量八千七百九十五担原價一万三千六百五十二弗ニ比スレハ
實ニ該品商業ノ著ルシク伸暢セルヲ見ルヘシ
予今マ日英直接ノ貿易上ニ就テ數言ヲ陳述シ以テ此篇ノ局ヲ

結ハントス

蓋シ関稅局ノ報告表ニ拠レハ大不列顛ヨリ直チニ輸入シタル
物品ノ原價ハ二千〇二十三万六千六百九十六弗ナリ而テ英領
殖民地ヨリノ輸入ハ原價八十八万五千二百九十五弗ナリ是レ
各回ヨリ輸入ノ通計二千六百万弗ノ五分ノ四ニ当ル割合ヲ示
スモノナリ
抑モ茲ニ英國及其領地ヨリ輸入シタル品物ノ原價通計凡ソ二
千百万弗ト云フモノハ獨リ本港ニノミ止ルニ非ス日本諸府市

場ニ輸入セルモノヲ合算セシ額ナリト云々要スルニ他港口ニ
輸入シタル額ハ實ニ僅少タルモノナレハ之ヲ加算スルト加算
セザルトニ依テ前ニ表示シタル輸入總計ニ對スル比例ニ於テ
格別ニ變更スルニ至ラザルベシ
日本ヨリ大不列顛ニ向テ輸出セル物品ノ原價ハ三百〇四万九
千七百十八弗ニシテソノ殖民地各地ヘノ高ハ二百八十四万九千
六百八十九弗ナリ故ニ輸出ノ高ハ全体ノ總額ニ對シテハ其割
合輸入高ノ如ク大ナラスト云フヘシ
為換 倫敦六ヶ月渡り銀行手形ハ上半年ニ於テハ一弗ニ四志
ヨリ三志十一片ナリキル来多少ノ昂降アリシト云々終ニハ三
志七片半迄ニ下落セリ是レ畢竟銀價ノ世界一般ニ下落シタル
ニ因ルモノト云フヘシ
又夕歲晚ニ際シテ本國ニ現出シタル理財上ノ困難ハ短期手形

及電信為換ノ相場ヲ意外ニ低落シ之レカ為メニ輸入者ニ其物
品ノ代價五分ヨリ一割ノ損失ヲ被ムラシメタリ

第二

船舶航海

各國船舶ノ入港ハ總計三百十九隻ニシテ此噸數ハ三十九万六
千七百八十二噸ナリ之ヲ前年ノ三百〇八隻三十六万七千七百
五十五噸ニ比較スレハ船舶ノ増加ハ實ニ僅少ナリト云々其噸
數ニ至テハ二万九千〇二十七噸ヲ増加ス是レ本年ニ運用セシ
船舶ハ前年ニ比スレハ其艦隊ノ一層巨大ナリシハ言ハズシテ
知ルヘキナリ此ノ中英國ニ屬スルモノ一百七十三艘ニシテ其
噸數ハ十七万七千〇二十一噸ナリ而シテ其内八艘總積六千五
百九十五噸ノモノハ當港ニ於テ貨物ヲ搭載セシカ為ニ來航シ
タル空船ナリ前年入港ノ英國船舶ハ百五十一艘ニシテ其噸數ハ

十五万一千六百四十一噸ナリトス
 合衆国ニ属スルモノハ本年ニ於テ艦數四艘ヲ増加シタレ其噸數ハ稍減縮シタルヲ覺レ佛國ニ属スルモノハ其艦數前年ニ同シト雖モ噸數ハ四千四百十三噸ヲ減シ且受船ハ前年ニ四十二艘ナルモ本年ニ至テハ二十四艘ニ減縮セリ其噸數モ亦タ之ニ準シテ減縮セリ
 日本商船ノ形況ハ船舶出入表ニ登記ナシト雖モ近來ソノ大ニ伸暢セルモノアルヲ以テ特ニ本昏ニ於テ其報告ヲ要スルモノアリ關稅局ノ報告スル所ニ於テハ其外國港(上海ヲ指ス)ヨリ入港セルモノハ明治十年度ニ於テ艦數五十二艘其噸數ハ十万一千五百噸ナリ之ヲ十一年度ノ艦數五十九艘噸數九万九千四百六十二噸ニ比スレハソノ増減スル所ハ極メテ僅少ナレ且日本沿海貿易ノ船舶ニ至テハ其増加セル實ニ驚カサルヲ得ス今マ

十年度及十一年度ノ西季ノ季之ヲ比較スレハ
 船舶數 噸數
 十年度 四百七十七艘 二十三万〇二百五十三噸
 十一年度 八百八十八艘 四十五万九千四百五十一噸
 以上ニ列擧スル内外ノ航海ニ使用スル汽船ハ悉ク三菱會社ノ所有ニ属スルモノナリ都テ該社所有ノ艦數ハ蒸氣四十艘ニシテ其噸數ノ總計二万四千八百六十九噸ニ達シ社中ノ事務頗ル整頓セリ目今日本支那ノ間及ヒ日本各港ノ間ニ定期ノ航海ヲナスモノ獨リ該社ノ汽船アルノミ
 船賃 凡ソ当港ヨリ輸出ノ物賃ニシテ直チニ港内ニ於テ帆前船ノ全荷ヲ給スルニ足ルモノハ持リ米、小麦、茶ノ三品ニ過キス烟草玩弄物其他小量ノ物賃ニ至テハ概シ汽船ヲ以テ上海香港ニ輸送シ更ニ大洋航海社ノ船艦ニ轉載シ歐洲ニ運搬スルカ故

ニ帆船ノ載貨ヲ得ルハ實ニ容易ナラストス
当港ヨリ歐洲ニ向ケ發艦シタル帆船前船ハ其數僅ニ六艘ニ過キ
ス其内一艘ハ長崎ヲ經テ航行シタルモノニ係ル載貨ハ米最モ
其多ニ居ル而シテ当港ヨリ直々ニ支那歐洲及其他ニ輸送シタ
ル米及小麦ノ總額ハ凡ソ六十万担ナリ然ルニ當港ヲ發シテ四
日市又ハ新潟ノ諸港ニ到リ米ヲ搭載シテ歐洲ニ航進セシ船艦
モ亦タ六艘餘ナリト其運賃ハ一噸三十七志六片ヨリ五十志ノ
間ニアリキ

濠洲メルボトシニ向ケ米ヲ運搬セシ帆船前船ハ一艘ニシテ其運
賃ハ一噸ニ付四十志ナリキ又タ紐育ニ向ケ茶ヲ運搬シタルモ
ノ三艘ナリ其内一艘ハ運賃四十「ピ」ト積ニ付三十志ヲ得タレ
ト又其一艘ハ頗ル載貨ヲ得ルニ苦シニ當初ハ五十志ノ運賃ヲ
得ルニ非カレハ搭載セス「主張シタレハ漸次」ノ運賃ヲ三十

志ヨリ二十志迄ニ低減シニ總ニ全荷ヲ得ルニ至レリト云フ
米及小麦ヲ厦門ニ運搬シタルモノ亦タ尠ナカラスト蓋其運
賃ハ一担ニ付十五「ピ」トヨリ二十五「ピ」ト乃至三十「ピ」トノ
低度ニテアリシト又タリノ香港ニ向ケルモノハ多クハ汽船ヲ
以テ之ヲ運搬セリト云フ

茶ハ送前ノ如ク其過半ハ大平海郵便汽船會社及東西汽船會社
ノ汽船ヲ以テ米國ニ運搬セリ而シテ紐育ニ航進セシ帆船前船ノ
本年ニ好結果ヲ得ル「能」ハナリシ所以ハ私有汽船ヲ以テ低價
ニ紐育ニ運搬シタルモノ多キニ因ルモノナリトス抑モ此ノ私
有汽船ノ貨物ヲ運搬スル方法ヲ聞クニ先ツ當港ニ兩三日間停
船シ茶及ヒ其他貨物ノ即時運搬ヲ要スルモノヲ搭載シ然ル後
チ神戸上海厦門等ノ諸港口ニ於テモ同一ノ手續ヲ以テ搭載シ
終リス又ス「ヲ」經テ紐育ニ帰航スルナリ其運賃ハ六月中ハ八十

志ナリシモ八月ニ至テハ五十志ト依降シ終ニ四十志ノ依点ニ
沈淪セリ是レ蓋シ運搬者ノ競争スル者多キノ故ナリト知ルヘ
シ
右ノ方法ニ依倣シ倫敦ニ貨物ヲ運搬セント試ミタルモノアリ
ト虽氏目今僅ニ二三艘ニ過キス

第三

人口

各外国人民ノ当港ニ寄留スルモノ支那人ヲ除キ總計一千三百
七十八ニシテ大略前年ニ同シ然レニ我英國人民ニ於テハ本年
ニ五十九口ヲ減セリ則チ我國人寄留全口ノ一割強ヲ失フモノ
ト云フヘレ之ニ及シテ米國人ハ前年ハ僅カ一百八十七口ナル
モ本年ニ至テ三百口ニ増進セリ然リト虽氏予ハソノ昨年ノ調
査ノ未タ精密ナラサルヲ以テ斯ノ如ク依然本年ニ於テ其増進

ヲ現シタルヲ信ス又タ佛人獨人ノ寄留スルモノモ亦タ本年ニ
於テ若干ヲ増加シタルモノアリ支那人ニ至テハ本年中ノ増口
實ニ七百八口ニ達セリト云フ

斯ノ如ク英國人ノ減少シタル所以ノ理由ヲ推究スルニ全ク商
業上ノ一大競争ヲ生シテヨリ百般ノ用度ヲ節減スルヲ要点ト
シ諸商館ニ於テ人負ノ減省シタルニ外ナラサルヘシ後ヲ其
人口ノ減少シタルヲ見テ直チニ本國利益ノ幾分ヲ減却シタル
モノナリト即断スルハ誠ニ皮相ノ見ト謂フ可シ蓋シ予カ卷末
ニ附添シタル日英直接ノ貿易表ヲ一覽セバ即チ其利益ノ往年
ト異ナルヲナキヲ知ルニ餘アルヘシト信ス

当港ノ日本人口ハ四万九千九百五十二人ナリ而シテ神奈川縣下ノ
人口總計ハ七十六万〇四百十二人ナリ之ヲ前年ノ七十四万二
千六百九十七人ニ比スレハ則チ一万七千七百十六人ノ増口ナ

ルヲ知ルベシ

第四

公工作事

昨年中ニ於テ公工作ノ重要ナルモノヲ構成シタルモノナキカ故ニ本項ニ記述ヲ要スルニ足ルモノナシ然レモ左ノ統計表ハ之ヲ読ム者或ハ多少ノ利益ヲ得ルヲナキニ非カルヘシ
鉄道 東京横濱間ヲ来往スル十八英里ノ鉄道ヲ以テ運搬シタル旅客ノ数ハ

本年

五十五万三千六百〇三人

前年

五十五万二千〇四十一人

電信 横濱ヨリ内外各所ニ音信シタル統計ハ

本年

八万三千三百十二通

前年

七千三百十三通

内国

外国

前年

内国

七万二千七百五十三通

外国

六千九百二十二通

内外各地ヨリ横濱本局ニ達シタル音信数モ亦タ同一ノ増進ヲ表セリ

雜貨

第二表

明治十一年橫濱港輸出一覽表

品名

價額

二二二〇八〇

生糸

八九七九二〇八

蚕卵紙

六八二六〇六

茶

二七〇四〇七二

銅

二二八六〇九

烟草

三〇二〇〇

蠟

二三六三八

乾魚

四〇六一二四

米

九九九〇〇三

雜貨

二〇三九四六一

通計

一六〇九二九六一

第三表

外國出入船舶表

國名	入港		出港	
	艘數	噸數	艘數	噸數
英國船	一四七	一五六〇三一	一四一	一五一九七五
全郵便汽船	二六	二六九九〇	二六	二六九九〇
米國船	五〇	四二六三八	四〇	三三五六八
全郵便汽船	二四	一〇九六三八	二四	一〇九六三八
佛國船	三	九八六	三	九八六
全郵便汽船	二六	四三一六五	二六	四二九三二
日國船	二四	一一四〇〇	二五	一〇六〇七
魯國船	一	八九七	一	八九七

丁抹国船	四	三、六六六	三	二、〇八九
布哇船	一	三一二	一	三一二
白露船	、	、	、	、
白義船	一	二、二九七	一	二、二九七
諾威船	四	二、五八一	四	二、九八一
和蘭船	四	一八一	五	二、三三三
西班牙船	、	、	、	、
通計	三一五	三、九六、七八二	三〇〇	三、八〇、七一三

第四表

貨幣輸出入表

輸入

英國及其他、外邦ヨリ	二、二九八、五五六
日回諸開市港ヨリ	一、八九二、九九四

通計

輸出

英國及其他諸外邦へ	八、九〇九、九三六
日本諸開市港へ	七、一三三、五一八
通計	二〇、二三五、〇〇四

第五表

輸出入諸稅額一覽表

輸入稅	一、五四五、一〇七
輸出稅	八九九、五七三
船舶出入港手数料	二九、六四三
庫敷料	一〇、五四二
雜収	八、六七三
通計	二、四八九、九三八

第六表

港內寄留各國人負及諸商館一覽表

國名	人負	商館數
英吉利	五九五	五四
奧斯多利	五	、
白耳義	五	一
支那	一、八九〇	未詳
丁林	七	、
和蘭	五九	三
佛朗西	一二〇	三四
日耳曼	一七九	二三
布哇	六	、
以本利	一九	八

白露

葡萄牙

魯西亞

西班牙

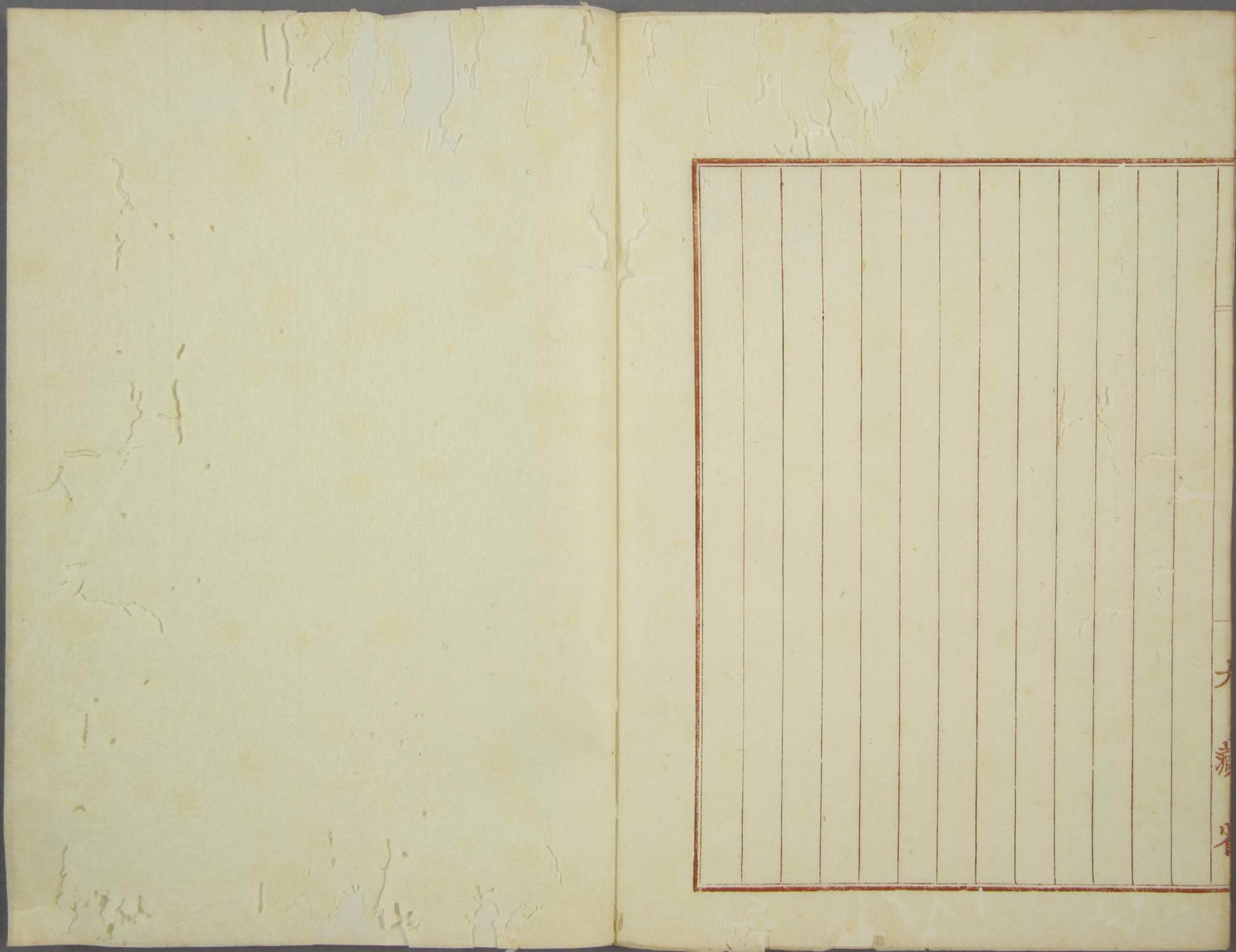
諾威及瑞典

瑞西

合衆國

通計

	七三	、
	二一	、
	三一	、
	一六	、
	二二	八
	三〇〇	三四
	三、二二〇	一六九



大
藏
書

